

# CAD/CAM 導入による作業効率化の現状

講師 枝川智之

近年のCAD/CAMテクノロジーに関わる機械化は、コンパクトで高精度の機種が各メーカーから発売され、ラボの規模に合った機種を選択できる事で、個人ラボでもCAD/CAMの導入が多くなっている。

技工作業においてアナログからデジタル化により、作業環境の改善また、機械化により高品質な補綴装置が安定的に提供することが出来るようになった。

しかし、一見CAD/CAMによる製作作業は生産性が向上するように思われるが、実際の作業時間を考察すると、オペレーターを介した作業は意図する物と違う事が多く、以外に時間の短縮化に繋がっていないように感じている。

また、取り扱うディスクの材料に関しても高透過ジルコニアなどは、従来のジルコニアとは違い、曲げ強度や破壊靱性など物性を良く理解した上で作業が必要となる。

そこで、今回は材料の特性を踏まえた使用上の注意点や、作業効率化に繋がるようCAD/CAMの特性を考察し、的確に作業工程に反映させる事で煩雑な作業を分担化し効率化するための考えと、ラボとしての取り組みなどを交えお話したいと思う。